安全上のご注意

GPU コンピューティングサーバ







はじめに

このたびは、GPU コンピューティングサーバをお買い上げいただき、ありがとうございます。

『安全上のご注意』(以降、本書)は、本製品を安全に正しくお使いいただくための 重要な情報を記載しています。本製品をお使いになる前に熟読して、正しく安全に ご使用くださいますようお願いいたします。また、本製品の使用中にいつでも参照 できるよう大切に保管してください。

関連ドキュメント

本書のほかに、『オペレーティングマニュアル』(以降、「ユーザーマニュアル」)が添付されます。また、各製品を設置して操作する際は、関係するユーザーマニュアルの指示に従ってください。

CE マーク適合について



本製品は、電磁環境両立性(EMC)、低電圧指令、RoHS 指令の要件を満たしており、適合性を示す (E マークが付いています(CE=Communauté Européenne = 欧州連合)。 この製品に接続するほかのデバイスもすべて、上記の規定に準拠している必要があります。

警告表示について

本書では、いろいろなシンボルマークを使っています。これは装置を安全に正しく お使いいただき、使用者や周囲の方の身体や財産に与えられるおそれのある危害や 損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のように なっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する 可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものか示すために、上記のシンボルマークと 同時に以下の記号を使用しています。

警告	↑ で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。 記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
禁止	○で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)である ことを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止 内容が示されています。
指示	● で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

GPU コンピューティングサーバ(モデル: ZD11)の『安全上のご注意』(本書)の指示に従って、使用してください。

設置に関する注意事項

本製品は、情報技術機器の関連する安全規則に準拠しています。設置時に満たす必要のある要件は、本製品のユーザーマニュアルに記載してあります。ご希望の場所に本製品を設置する際に、安全面に関して疑問な点がある場合は、販売店または弊社カスタマーサービス部門にご連絡ください。

本製品のユーザーマニュアルには、ハードウェアの設置作業の一部、および弊社カスタマーサービス部門または担当者が行うべき作業に関する情報が記載されています。

■ 輸送、開梱、設置





床の強度が弱い場所に設置しないでください。 床が抜けるおそれがあります。



湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に設置しないでください。

故障・火災・感電の原因となります。



電源ケーブルおよび各種ケーブル類に足がひっかかる場所には設置 しないでください。 故障の原因となります。



地震発生時の転倒防止のために、ラックシステムの設計の際には必ず装置/ラックの固定などの耐震対策を行う必要がありますので、担当営業員にご相談ください。

本製品(ラックシステムを含む)は、250gal(震度 5 強相当)以下の振動では問題なく動作するように設計されています。



本製品を移動するときは、必ず電源を切り、ケーブル類/マウス/キーボード/電源ケーブルを外してください。

指示



本製品を持ち運ぶときは、下記の点に注意して作業を行ってくださ W.

本製品の質量	作業員の数
18kg 以上	2人以上
36kg 以上	3人以上

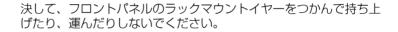
注意

指示



本製品を輸送する際は、必ず元の梱包材に入れるか、または、衝撃 から本製品を保護するように梱包してください。設置場所に着くま で、梱包箱を開梱しないでください。

指示



指示



本製品が寒い環境から操作室に移動された場合は、結露が形成され ることがあります。デバイスを起動する前に、デバイスが室温まで 温まり、完全に乾いた状態になるまでお待ちください。順応時間は デバイスおよびその設計により異なります。

指示



本製品を開梱して設置するあいだ、および本製品を使用する前に、 ハードウェアの設置に関する情報およびデバイスの技術データにご 注意ください。これには、設置場所の大きさ、電気値、必要な環境、 気候条件などが含まれます。これらの情報は本製品のユーザーマ ニュアルに記載されています。



スタビライザーを設置する必要のあるシステムおよびラック キャビ ネットは、スタビライザーなしで設置できないため、部品を使用し て設置するようにしてください。スタビライザーを設置するまであ らかじめ設置されたコンポーネントを使用できないことにご注意く ださい。



テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所には設置 しないでください。 故障の原因となります。



腐食性ガスが発生する地域や塩害地域では使用しないでください。 故障の原因となります。

腐食性ガスや塩風は、装置を腐食させ、誤動作、破損および、装置 寿命を著しく短くする原因となりますので、空気清浄装置を設置す るなどの対策が必要となります。

また、塵埃が多い場所についても、記憶媒体の破損、冷却の妨げなどにより、誤動作や寿命短縮の原因となります。

- 腐食性ガスの発生源としては、化学工場地域、温泉/火山地帯などがあります。
- 塩害地域の目安としては、海岸線から 500m 以内となります。



本製品の上に重い物を置かないでください。また、本製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。また、本製品が故障したり誤動作する場合があります。



本製品は、水平で安定した場所、および大きな振動の発生しない場所に設置してください。

振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所は、落ちたり倒れたりしてけがの原因になりますので、設置しないでください。また、危険防止のため通路の近くには、設置しないでください。通路の近くに設置すると、人の歩行などで発生する振動によって本製品が故障したり誤動作する場合があります。

■ データ ケーブルの接続





荒天時にデータ転送路を接続したり、接続を切断したりしないでく ださい(落雷の危険があります)。

ケーブルを接続する場合または接続を取り外す場合、必ずプラグを持って作業を行ってください。ケーブルは決して引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルがプラグから外れる可能性があります。

損傷したり曲がったりする危険がないようにケーブルを配線します。

■ 電源システムへの接続





指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タ コ足配線をしないでください。

火災・感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。



内部のケーブルや内蔵デバイスを傷つけたり、加工したりしないでください。

従わない場合、本製品の故障、発火、感電の原因となるおそれがあります。また、保証は無効となり、メーカーの責任は免除されます。



電源ケーブルや電源プラグが傷んだとき、コンセントの差込み口が ゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを折り曲げるなどして束ねた状態で使用しないでください。

ケーブルは伸ばして使用してください。そのまま使用すると、火災 の原因となります。



本製品にサービスコンセントがある場合は、マニュアルに記載されていない装置をサービスコンセントに接続しないでください。 火災・けがの原因となります。



故障時または整備が必要な状況が発生した場合(格納やケーブルに 損傷がある場合、液体や異物がデバイスに入った場合など)は、電 源が遮断されることがあります。

建物内の設置に関する疑問点は、必要な場合、建物の管理者に連絡してください。

指 示



電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となります。

指示

電源プラグの電極、およびコンセントの差込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。 そのまま使用すると、火災の原因となります。



アース接続が必要な装置は、電源を入れる前に、必ずアース接続をしてください。アース接続ができない場合は、担当営業員にご相談ください。

万一漏電した場合、火災・感電の原因となります。

▲注意



定格電圧が現地の電圧に適合することを確認してください。適合しない場合は、本製品が損傷または破損することがあります。



操作を開始する前に、すべてのケーブルとワイヤが完全であり、破損していないことを確認してください。特に、ケーブルが曲がっていないこと、過度にきつく配線していないこと、ケーブルの上に何も配置されていないことを確認してください。また、すべてのコネクターがしっかりと固定されていることを確かめてください。不備のある遮蔽または配線は、健康を害したり(感電)ほかのデバイスを損傷したりする可能性があります。



本製品は、適切に接地された電源コンセントまたは接地されたラックの内部配電サーバ(電源ケーブルは試験を受けて承認済み)以外には接続しないでください。



緊急時にプラグをソケットから抜くことができるように、本製品のソケットまたは PE(保護接地)壁コンセントにユーザーが自由にアクセスできることを確認してください。また、ソケットを電気回路から切断するブレーカーが建物内に設置されている必要があります。



 $100 \sim 127 \text{V}$ の AC 電源の使用は当社ではサポートしていません。 それでも使用する場合、本製品で 20 A を超えると、PSU(電源ユニット)の冗長の機能は使用できません。

操作に関する注意事項



禁 止

短絡の回避



(貴金属、クリップなどの) 異物や液体がデバイスに入らないように してください。

感電や短絡が発生する可能性があります。



本製品の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が 入った容器、金属物を置かないでください。 故障・火災・感雷の原因となります。



本製品を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルなども外してください。 作業は足元に十分注意して行ってください。電源ケーブルが傷つき、

作業は足元に十分注意して行ってください。電源ケーブルが傷つき、 火災・感電の原因となったり、本製品が落ちたり倒れたりしてけが の原因となります。



万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、直ちに本製品の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後修理相談窓口に連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。



異物(水・金属片・液体など)が本製品の内部に入った場合は、直ちに本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理相談窓口に連絡してください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



換気口



本製品の使用中に過熱が発生する危険があるため、換気口が塞がれ ていないこと、およびほこりで汚れていないことを確認してくださ い。換気口が塞がれていると、動作に支障を来すことがあります。

正常な使用



格納力バーを正しく取り付け、ドアを閉めた場合にだけ(冷却、防 火、電界、磁界、電磁界に対する遮蔽)、本製品が正常に使用でき、 FMC(電磁環境両立性)に適合した限界値が適用されます。



故障時および整備中は電源プラグを抜いてください。

本製品の電源を切っても、本製品は回路から切断されません。故障 時や整備時には、本製品の電源プラグを抜く必要があります。 次の手順を行ってください:

- ⇒本製品の電源を切る
- ⇒電源プラグを抜く(本製品のユーザーマニュアルを参照してくだ さい)
- ⇒販売店または弊社カスタマーサービス部門に連絡する



周辺機器もまた、配電から切断しただけでは電源を切ったことには なりません。主電源から完全に切るには、電源プラグを抜く必要が あります。



清掃の際、清掃用スプレー(可燃性物質を含む物)を使用しないで ください。

故障・火災・感電の原因となります。



周囲で殺虫剤などを使って害虫駆除を行う場合には、本製品を停止 し、ビニールなどで保護してください。



各種コネクターの差込口に指などを入れないでください。 けがの原因となります。



長時間装置を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災・感電の原因となります。



ディスプレイに何も表示されないなど、故障状態で使用しないでください。故障の修理は修理相談窓口にご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。



携帯電話などを本製品に近づけて使用しないでください。 本製品が正しく動かなくなるおそれがあります。



健康のため、1 時間ごとに $10\sim15$ 分の休憩をとり、目および手を休めてください。

整備に関する注意事項





本製品の修理は認可された資格者だけが行うことができます。不適 切な修理を行うと、著しい危険が伴うことがあります(感電、火 災)。



不正に本製品や本製品の各部品を解体することは非常に危険です。不正に解体すると、保証の無効および賠償の除外対象となります。



本製品を勝手に改造しないでください。 火災・感電の原因となります。



本製品のカバーや差込み口に付いているカバーは、オプション装置 の取り付けなど、必要な場合を除いて取り外さないでください。 内部の点検、修理は修理相談窓口にご連絡ください。内部には電圧 の高い部分があり、感雷の原因となります。

本製品のカバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かな い場所で行ってください。また、作業が終わるまでは大人が本製品 から離れないようにしてください。

お子様が手を触れると、本製品および本製品内部の突起物でけがを したり、故障の原因となります。

注意

指示



スライドレールを使って本体を引き出し、本体をラックに戻した際 は、確実に本体をネジでラックに固定してください。

清掃に関する注意事項





本製品は濡れた布などで清掃しないでください。ユニットに水が浸 入すると非常に危険です(感電)。





クレンザー、アルカリ性洗浄剤、鋭いまたは硬い洗浄用品は決して 使用しないでください。製品の表面が傷つくことがあります。製品 内の部品に関しても同様の条件が適用されます。

化学溶液

製品のそばで化学溶液または清浄液を使用しないでください。また、 そのような溶液を製品の近くに保管しないようにしてください。製 品が損傷する可能性があります。

ドライブおよびデータ記憶媒体に関する注意事項

⚠注意

指 示



データの安全性は、使用するデータ記憶媒体の状態に大幅に依存し ます。完全な状態を保つには、データ媒体および対応する製品を取 り扱う際の特定な規則を遵守する必要があります。

指 示

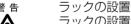


本製品を落とさないようにしてください(衝撃の回避)。許可されて いる温度の範囲を上回るまたは下回る環境で保管または使用しない でください。特定の程度を超える衝撃や振動などの外的要因により、 書込み/読取りヘッドが磁気ドライブの記憶媒体に当たる可能性が あります。これにより、データが損失することがあります。このた め、電源がオンになっているときにシステムまたは磁気ドライブは 決して動かさないでください。デバイスの電源を切った場合、ス ローダウン時間として必要な30秒間はデバイスを動かさないよう にしてください。

ラックシステムに関する注意事項

注意

スライドレールに取り付けられた本体装置を棚や作業場として使用 しないでください。



ラックの設置には最低2名が必要です。事故を防止して、装置に損 傷を与えないために必ずこれを守ってください。



過負荷の防止

同じ回路に多数のデバイスが接続されている場合は、電流分布に過 負荷が生じていないことを確認してください。製造銘板に記載され ている公称値に従ってください。

システムの接地



システムのアース(アース線)は、本製品または周辺機器に接続さ れます。ラックキャビネットの接地は、電気保安上は必要ではあり ませんが、特定の基準および標準に準拠する必要がある場合があり ます。

ラックの固定



ラックが倒れないように固定されている場合でも、スライド式の製 品がレールから外れる可能性があります。複数の製品が同時に引き 出された場合、ラックの安定性が保たれない事態が発生することが あります。



ラックへの装置搭載作業に必要な人員 ラック搭載作業において、本製品の挿入および取外しに必要な人員 は4ページの表を参照してください。

静雷気敏感性コンポーネントを含むモジュール(FSD) に関する注意事項

静電気放電に脆弱なコンポーネントを保護し、損傷や破損が発生しないようにする ために行う処置を指します。静電気敏感性コンポーネントを含むシステムやモ ジュールは、以下のステッカーで識別されます。



静電気敏感性コンポーネントを 含むモジュールの表示

静電気敏感性コンポーネントが破損することを防ぐため、次の処置を行ってくださ い。

⚠注意



保護を確実にするため、このタイプのモジュールを取り扱う際に手首に接地用バンドを装着してください。接地用バンドは本製品の塗装されていない金属部分に接続してください。



静電気を発生させない道具およびデバイスだけを使用してください。 コンポーネントを設置または取り外す前に、本製品の電源ケーブル を抜き、断路器を使用して電源装置の電源を切ってください。



モジュールの運搬

モジュールの端部分だけを触れるようにしてください。モジュールの端子ピンや伝導路に触れないでください。



モジュールの保管

モジュールは常時、保護 ESD 包装に入れて保管してください。保護 ESD 包装は損傷がない状態である必要があります。極度に折り目が 付いたり、穴が開いたりしている保護 ESD 包装は、静電気に対する 保護になりません。

リサイクルに関する注意事項

本製品を廃棄する場合、弊社担当営業員に相談してください。本製品は産業廃棄物として処理する必要があります。





可能な限り、お客様独自のラベルをプラスチック製の部品に貼らないでください。

貼った場合、リサイクルが困難になります。



返却、リサイクル、廃棄を行う場合は、各自治体の規制に従ってください。

保証に関する注意事項

装置に対して機械的または電気的な改造を行わないでください。富士通は改造された弊社の製品に対して一切責任を負いません。

本製品の詳しい保証内容については、『保証書』をご覧ください。

GPU コンピューティングサーバ 安全上のご注意

発行日 2017 年 11 月 Copyright 2017 FUJITSU LIMITED

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書の無断転載を禁じます。
- 使用されているハードウェア名およびソフトウェア名は、各社の商標です。